

国土交通労組の総力をあげ 19春闘をたたかおう

東海

No.3209

19.3.15

国土交通労働組合
東海建設支部
教育宣伝部

賃上げと体制拡充へ 春闘を勝ち取ろう

国土交通省労働組合は二月三・四の二日間、愛知県豊橋市のシーパレスリゾートにおいて第八回中央委員会を開催しました。中央委員には中央委員、オブザーバー、来賓、本部役員を含め一五九名の参加があり、東海建設支部からは、中央委員としても西田（紀勢）、稲葉（岐阜）の二名が参加しました。

今年はチャンスの年 「猪突猛進」の如く

今回の中央委員会は「なかまの団結で、安全・安心な国民本位の国土交友行政を確立しよう！」をメインスローガンの元、一九春闘方針の確認をしました。

冒頭の安藤中央執行委員長は、今年はいのしし年であり「猪突猛進」として周



冒頭のあいさつをする安藤中央執行委員長

囲の人のことや状況を考えずに、一つのことに向かって突き進むことから、今年は国土交通労組の総力をあげて、たたかう年いすべきでは無いかと考えている。生活改善・賃金改善のたたかいを例年になく強める必要のある年であり、先の通常国会の施政方針演説において安倍首相は一〇月からの消費税率一〇％への引き上げの明言をしました。もし、賃金改善が行われなければ一〇月からは二分の生活費ダウンとなることから、今年の春闘で賃金改善のたたかいを強めなければならぬ。

三大署名の取り組みでは共通の項目として、国土交通行政にかかわる体制の確保にある。今年五年ごとの定員見直しの年であり、体制拡充の必要性を訴えて

いく。

さらにいのしし年は、政治の年であり、地方選は四年ごと、参議院選は三年ごとにあります。一二年に一回、いのしし年だけが春の統一地方選、夏の参議院選とW選挙が行われるからです。私たちの暮らしと政治は直接的に結びついており、切り離して考えてはならないものであり、公務員の労働条件は法律によって決められています。

職場の中だけでのたたかいに終始せず、職場から出て行きたたたかいを強めていく必要がある。

職場で起きている様々な問題を出し合い、みんなで解決していくことを切に願っている。とあいさつをされました。

山崎書記長などから 報告および提案

浅野国公労連中央執行副委員長をはじめとする来賓の方々からのあいさつを受けた後に、山崎書記長から補足議案を含めた一九春闘方針（案）の提案がありました。

定員関係では五年間で一〇％の第一三次定員合理化方針のもと、全府省で五、五五九人の定員削減が先取りで行われ、そのうえで内閣の重要施策にかかわる重

点的な増員された結果、差し引きで七三名の純減がとまっている。国交省では、概算要求時い省全体で四〇〇人あまりの純増要求していたが、査定の結果三二人の純増にとどまっているなどの指摘がありました。

また、定年延長に関して、公務員の人件費抑制の動きによるさらなる「能力・実績主義」を浸透させ、評価に応じて給与に差をつけるなどの動きがあることから、私たちの求める定年延長のあり方と相反する議論が進められていることから、定年延長も含め、高齢雇用にかかわる要求活動について、関係機関へのとりくみにとどまらず、世論喚起も含め、いっそうの取り組み強化が求められている状況と報告がありました。



提案をおこなう山崎書記長

質疑・討論の場においては、二日間を通して補強・文書発言を含め全体で六〇の発言が出され、質疑の冒頭には、神戸管制支部から国交労組の発足後初となる五〇番目の支部が発足したとの報告もありました。

春闘要求賃金額のずれは何か 定年延長は処遇に問題あり

東海建設支部の西田中央委員からは、春闘における要求額について、国公労連・国民春闘共闘でずれが生じている。決められた経緯がわかる資料を下ろして欲しい。また、定年延長に関して、役職定年制については今後の処遇に大きな問題が起きる制度だ。これについてどのように取り組んできていて、どのように改善させるべきかと今春闘期への支部運動への具体を求め発言がありました。



発言する西田中央委員



発言する稲葉中央委員

再任用と定年延長の 運動を強化すべき

稲葉中央委員からは、職場では定年延長をすべての人が望んでいるわけではない。再任用制度でフルタイム採用希望者には確実に採用されるよう求めるべきである。また、定年延長により給与カーブを寝かせることで賃金抑制として行くことが考えられる。生活の中で子供の養育費も必要となる中で、生活がままならない。両方の取り組みを強化していく必要がある。

三大署名の 取り組みを強化を！

各支部からは、国交労組の進める三大署名の取り組みについて、各職場・地域で署名の取り組み時における成功や失敗の例が紹介されるなど教訓となる多くの

総括答弁

発言がありました。国土交通省の職場を必要性を訴えていくためにも三大署名の取り組みを強化していく必要があります。

前向きな議論がされた二日間だったと思います。

定員削減や超過勤務など組織の課題や取り組みの報告など補強されたと思っています。

情勢課題については若干意見が少なかつた印象もありますが、春闘を巡る情勢当については認識の一致を図れたと思っています。

生活が良くならないなど、民間労働者との共同の取り組みが必要であり国民的運動の重要性が示された。全労連規模の運動が大切になります。

賃金要求に関して丁寧な回答が不足していた。一四、〇〇〇円要求は加重平均で出していたが、国公労連の拡大中央委員会前後でサンプル数が三〇〇〇から六〇〇〇に増えたため再度計算して要求額二三、〇〇〇円に確定した。国民春闘要求は実質賃金七%アップを元に算出しているため要求額に差が出たのが実態。障害者雇用についても労働組合が先人を切っても労働

環境作りに取り組んでいる報告を受けた。障害者の方々が継続して働ける社会はどうしていいかわからないのかという議論をもっと深くしていく必要がある。

業務で大変だと思うが、工夫し奮闘をお願いしたい。多くの教訓が出された。非常に厳しい情勢であることは間違いない。春闘は厳しいときこそみんなの力を合わせて頑張るといふ決意で全体の共通の認識と確認した。

第4回全国青年交流集会開催に向けて

国土交通労組は全国青年交流集会を2019年11月に中部地区で開催します。青年部では開催に向け、実行委員会を結成し楽しく集えるイベントを企画中です。全国青年交流集会の成功に向け、中央委員会の会場にて、見本市として中部地方の名産品などを販売しました。見本市は盛況で用意した商品は完売しました。是非11月の青年交流集会に誘い合って参加ください。

第4回全国青年交流集会

実行委員会NEWS

おいでよ 中部！

国土交通労働組合第4回全国青年交流集会の実行委員会が決定しました。12月16日、17日に実行委員会が開催され、テーマや開催日時について決定しました。



2月3日、4日に開催される中央委員会にて見本市を実施します！

2019年1月29日

第1号

国土交通労働組合
第4回全国青年交流集会実行委員会

★テーマ
集え 日本のまんなかへ！
(サブテーマは另行通知)

★開催日時
2019年11月 9日(土)
2019年11月10日(日)

★開催場所
名古屋市内(予定)



中央委員会で見本市として

物販する青年部員